

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

7

1 施策の概要

1-1 施策の名称	緑化			基本施策コード	1 2 3
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	都市計画課	評価票作成者 都市計画課長 鈴木重利
1-3 総合計画における施策の体系	節	生活環境「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			
	項	水と緑の環境づくり			
1-4 施策の目的	緑化に対する市民ニーズが高まり、緑化推進の取組み、「癒しの公園」を感じる市民を増やす。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する
- B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度~平成22年度)			全期間(平成23年度~平成27年度)			指標の定義
		目標値(%)	実績値(%)	達成率(%)	目標値(%)	実績値(単位)	達成率(%)	
	自然の豊かさに対する満足度	75.0	78.1	104.1	80.0			総合的に景観の向上を表す指標

2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	緑化に対する市民の関心が高まり、緑化等に取り組む市民への推進	公共施設には、フラワーボランティアの協力により積極的にその維持管理に努め、また、花いっぱい運動を実施する行政区での推進支援に努める。	「やすらぎ」や「うるおい」を感じる市民が増え、市民全般において自然の豊かさの向上に直結した。
平成19年度	〃	〃	昨年度の比較実績値と比較しても低い数値となったが、昨年以上に緑化等に関する市民意識の向上に直結した。
平成20年度	〃	緑化木配布事業及び種子の配布事業を廃止しましたが、花いっぱい運動を実施する行政区での推進支援に努める。	フラワーボランティアの協力により緑化等に関する市民意識の向上が図られた。
平成21年度	〃	行政区による花いっぱい運動を積極的に参加させ、花の街豊明として推進支援に努める。	フラワーボランティアの協力により緑化等に関する市民意識の向上が図られた。
平成22年度	花いっぱい運動や二村山環境保全推進協議会による保全整備活動等のボランティアの協力により、緑化に関する市民の意識向上が図られた。		
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

